

和歌山への提言

教育学部

交換留学生

張雪

10113010

日本に来て、もうすぐ一年になる。この一年に、東京や大阪などの大都市に行ったことがある。いろいろなところを見た。やはり、どのような大都市でも、和歌山と比べものにならない。

私は田舎だと言われている和歌山が大好きである。

夜道を歩くのが好きな私にとっては、和歌山が一番である。夜になると、ライトをつけて、ピカピカになる。けれども、人が少ない。深夜になると、非常に人で少なくなる。静かな町に変わってくる。時には、二三人ぐらいジョギングする様子を目にする。三四人がヒヤリングをかけながら散歩する姿を表す。みんなは私と一緒にこの静かな夜道を楽しんでいるのではないだろう。こういう雰囲気の流れで、心も頭も落ち着くだろう。

それに、和歌山はほとんど海に囲まれているので、空気が新鮮で、環境が非常に優しい。住みやすいまちである。普段の生活で溜まっているストレスも海に行くことで、解消できるのではないだろう。

でも、いくら好きでも、隠せない欠点もある。例えば、高齢化が深刻化している。若者も徐々に和歌山を離れ、大阪に行ってしまう。交通料金が安い。このような問題は、全て生活に関わる問題である。

解決には、一番基本的な方法は、経済を発展するということである。人が和歌山に

集まってくれない理由とか、若者が大都市に行きたい理由とかは、和歌山の経済は大都市より弱いからである。経済を発展すれば、若者も住んでいる和歌山に残りたいし、よそに住んでいる人々も自分を上達するチャンスを見つけるために和歌山に来るだろう。

ここに、経済を発展と言っても、新しい商店街を作ることではない。新しい商店街を作るのに、大量のお金がかかる上に、非常に時間がかかる。作っても、すぐ盛んになるのも無理である。だから、新しい商店街や、スーパーなどを作るのをやめたほうがいいと思う。でも、どのように経済を発展するのか。

もちろん、経済を発展するために、商店街や工場、大型会社などが必要である。いろいろなことを考えた結果、新商店街を作るより、昔からあった商店街を復興したほうがいいと思う。例えば、ぶらくり丁は昔、非常に賑やかで、人出が多かった。和歌山の中心地と呼ばれても、過言ではない。徐々に、衰えてきた。人が行かなくなってきた。店舗も少なくなっている。言うまでもなく倒産する店もある。今のぶらくり丁を見ると、昔はそんなに人気があったとは想像を付けないと思う。

この町を利用して、経済を発展しさえすればいいと思う。具体的に言うと、商人の方は改めて商品について考えていただいて、政府の方は様々な政策を出すということである。店が宣伝販売をしても悪くはない。商品も売れるし、店のブランドもお客様に覚えていただけるし、時間経つと、またショッピングに来てくださるだろう。

若者が増えると、高齢化の問題も解決できるだろう。

これからの和歌山をずっと楽しみにしている。

